

【高等学校用】

令和6年度学校評価 計画

| 達成度(評価)        |
|----------------|
| A: 十分達成できている   |
| B: おおむね達成できている |
| C: やや不十分である    |
| D: 不十分である      |

| 学校名 | 佐賀商業高等学校 |
|-----|----------|
|-----|----------|

| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育目標に基づいた本年度の重点目標は概ね達成できている。</li> <li>本年度の取組をさらに深化させ、基礎学力向上と家庭学習の定着を図り、確かな学力と主体的に学び続ける力を育成する。また、社会で通用する心の教育やモラル・マナー教育を推進する。</li> <li>本年度の課題を精査し、業務の精選・改善を進め、専門高校の特色を活かした教育活動を推進する。また、働き方改革を推進し、働きやすい職場づくりを行う。</li> </ul> |
|---------------|--|
|---------------|--|

| 2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標 | <p>○佐賀県の商業高校の拠点校として、これからの時代に求められる商業教育について検討を進めること。</p> <p>○各学科の特色を生かし、自治体・高等教育機関・地域の産業界等との協働・連携による実践的かつ探究的な教育活動の充実を図り、グローバルな視点でコミュニティを支える地域のリーダーを育成すること。</p> |
|-------------------------|--|
|-------------------------|--|

|             | アドミッション・ポリシー  | カリキュラム・ポリシー   |   |  | グラデュエーション・ポリシー  |
|-------------|---|---|---|--|---|
| 3 スクール・ポリシー | <p>本校では、次のような生徒を求めています。</p> <p>(1) 勉強と部活動の両立をめざして意欲的に取り組む生徒を募集します。</p> <p>(2) 高い志を持ち、目標達成のために努力できる生徒を募集します。</p> <p>(3) 商業分野の学習に関心があり、資格取得に意欲的に取り組む生徒を募集します。</p> | <p>(商業科)</p> <p>独創性を持ち自由な発想ができるクリエイティブな能力を備え、時代の変化に対応し、積極的に活動して情報発信できる人材教育を行います。ビジネス社会で「即戦力」として活躍できる力をつけるために、簿記・流通経済・情報処理など多岐にわたる分野の学習を行い、多くの資格取得をめざすとともに、選択科目では商品開発や販売などの実践的な学習や起業家教育などの教育活動を行います。</p> | <p>(グローバルビジネス科)</p> <p>※くり募集のため2年次より</p> <p>異文化理解や多文化共生の考え方に基つき、文化や環境が異なる多国籍の人々と協働できる力を備え、国際社会に自信を持って発信できる「コミュニケーション力」と「グローバルマインド」を兼ね備えたグローバル人材教育を行います。そのために、日商簿記2級や実用英語検定2級などの高度な資格取得をめざすとともに、第2外国語(中国語・ハングル語)の学習や、特色ある学校設定科目を通じた探究活動や体験学習、国際交流などの教育活動を行います。</p> | <p>(情報処理科)</p> <p>Society5.0を支えるIoTの時代の革新的技術への理解を深め、デジタル化・グローバル化のツールとして、デジタルネットワークを活用してニーズに合ったサービスを提供できるクリエイティブな人材教育を行います。そのために必要なビジネス情報やプログラミングの専門分野の学習を行い、さらにインターネットショッピングモールの運営(eビジネス)、ホームページの作成、動画処理や3Dコンテンツやゲームなどのハイレベルな作品制作の教育活動を行います。</p> | <p>校訓『誠実・努力』のもと、高校卒業までに身に付けてほしい資質・能力(7つの力)の育成をめざします。</p> <p>(1) 共通科目や商業に関する専門科目を通して、知識・技能の習得をめざします。</p> <p>(2) 課題を発見し、解決策を考える実践的な学習を通して課題対応力を身に付けます。</p> <p>(3) 様々な教育活動を通して他者との関わりがなかで、協働性を身に付けます。</p> <p>(4) 他者を思いやる行動や高い規律意識を持った行動ができるよう、社会に必要なモラル・マナーを身に付けます。</p> <p>(5) グローバル化が進む地域社会・国際社会において、多様性を尊重し、異文化理解や多文化共生の考え方に基づいた教育活動の充実を図り、共生力を身に付けます。</p> <p>(6) 学習活動や各種検定・高度資格取得の挑戦を通して、主体性を身に付けます。</p> <p>(7) 勉強と部活動の両立を通して、基本的な生活習慣の確立と、健康や安全に配慮した生活を送り、自己管理能力を身に付けます。</p> |

| 4 本年度の重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 心身ともに健康で逞しい生徒の育成</li> <li>② 安全安心な学校づくり</li> <li>③ 主体的な学びと判断力の育成</li> <li>④ 様々な経験の場の創出</li> <li>⑤ 地域とともに生きる学校づくり</li> </ul> |
|------------|---|
|------------|---|

5 重点取組内容・成果指標

| 重点取組内容・成果指標        |  |  |   | 中間評価    |          | 最終評価    |      | 学校関係者評価 |       |  |
|--------------------|--|--|---|---------|----------|---------|------|---------|-------|--|
| (1)共通評価項目          |  |  |   |         |          |         |      |         |       |  |
| 評価項目               | 重点取組   |  | 具体的取組   | 中間評価    |          | 最終評価    |      | 学校関係者評価 |       |  |
|                    | 取組内容   | 成果指標(数値目標)   |   | 進捗度(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度(評価) | 実施結果 | 評価      | 意見や提言 |  |
| ●学力の向上             | ○主体的な学びを重視した授業の推進  | ○教員相互参観の公開授業を行う                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>他の先生方の授業を参考に自己の授業を見直す。</li> <li>商業科の課題研究をはじめ、各教科で主体的な取組を実施し2月に行うSSプレゼン大会に多くの生徒が参加するようにする。</li> <li>到達度テストと教材配信アプリにより自己にあった教材に取り組ませる。空き時間を利用した学習を進める。</li> <li>環境整備、情報提供、蔵書の充実を図る。</li> <li>個人面談(4月、9月)、Hyper-QU検査(1回)、生活状況調査(いじめ等のアンケート・各学期に1回、計3回)を実施し、生徒の学校・家庭での状況を知り、学年団との情報共有を図る</li> <li>スクールカウンセラーの積極的活用</li> <li>生活状況調査(いじめ等のアンケート)の回答率アップに努める</li> <li>いじめ防止強化月間(5月・12月)における啓発活動の実施、教育相談だよりでの啓発</li> <li>年間2回、情報モラルアンケートや学校生活における、自己チェックを実施し、モラルの向上や意識づけを図る。</li> <li>情報モラル教育では、関係外部機関との連携による講演会を実施する。</li> <li>ルールメイキングプロジェクト委員会を組織し、取組みを行っていく中で、生徒がより当事者意識を持ち、自ら考え行動する機会を設ける。</li> </ul> |         |          |         |      |         |       |  |
|                    | ○自ら学ぶ姿勢と確かな学力の育成   | ○OSSプレゼン大会の充実  |   |         |          |         |      |         |       |  |
|                    | ○家庭学習時間の確保と学力の向上   | ○自己の学力把握と向上に向けた動機づけを年度の早い時期に行い、家庭等での学習を1時間以上を目標に指導する |   |         |          |         |      |         |       |  |
| ●心の教育              | ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○図書館の来館者数、貸出冊数の増加                                    |   |         |          |         |      |         |       |  |
|                    | ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実                                      | ○生徒の情報共有の徹底  |   |         |          |         |      |         |       |  |
|                    | ○モラル・マナー教育の充実  | ○佐賀商業高校いじめ防止基本方針に則った未然防止・早期対応と再発防止                   |   |         |          |         |      |         |       |  |
| ○ルールメイキングプロジェクトの推進 | ○「情報モラルを守っている」「挨拶や礼儀を身につけている」と回答できた生徒を90%以上とする。              | ○「学校生活が充実している」と回答した生徒90%以上                           |   |         |          |         |      |         |       |  |

|                    |                       |   |   |  |  |  |  |  |  |
|--------------------|-----------------------|---|---|--|--|--|--|--|--|
| ●健康・体づくり           | ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成  | ●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上                                | ・保健体育や家庭科の授業、部活動の中で、食生活の重要性を指導し、生徒の意識を高める。<br>・保健だよりで、健康維持のために必要な情報を提供し、生徒の健康に対する意識を高める。                    |  |  |  |  |  |  |
|                    | ●安全に関する資質・能力の育成       | ●生徒の生活事故・交通事故を0(ゼロ)にする。                               | ・交通安全・防犯について関係機関と連携し、講話を開催する(6月・7月)。<br>・常に佐商生としての自覚をもち、規範意識を高める。アンケートを各学期に1回実施し、日頃の生活態度等の確認や見直しのきっかけ作りを行う。 |  |  |  |  |  |  |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。<br>○時間外勤務の時間数を年平均で5%削減  | ・定時退勤日(月曜)の設定と掲示や口頭による啓発を行う。<br>・長期休業中における学校閉庁日を設定する。<br>・学校基本方針に沿った部活動の活動時間および休養日を徹底する。                    |  |  |  |  |  |  |
|                    | ○積極的な休暇取得の促進          | ○有給休暇の取得を年間14日以上職員を45%以上にする。<br>○会議の精選と会議時間の削減(1時間以内) | ・有給休暇を取得しやすい職場環境づくりに努める。<br>・情報共有や資料提供などの連絡については、校務システムのメッセージやメール機能を活用し、会議の削減を図る。また、会議時間1時間以内を徹底する。         |  |  |  |  |  |  |
| ●特別支援教育の充実         | ○教職員の専門性の向上に向けた取組の充実  | ○職員研修の充実<br>○関係機関との連携強化                               | ・スクールカウンセラーによる研職員研修を実施する。<br>・支援が必要な生徒に関して、必要に応じてSC、SSWや関係機関と連携し、職員の対応能力を高める。                               |  |  |  |  |  |  |

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

| 評価項目            | 重点取組内容  | 成果指標<br>(数値目標)  | 具体的取組   | 中間評価        |          | 最終評価        |      | 学校関係者評価 |       |
|-----------------|---|---|---|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|
|                 |   |   |   | 進捗度<br>(評価) | 進捗状況と見通し | 達成度<br>(評価) | 実施結果 | 評価      | 意見や提言 |
| ★唯一無二の誇り高き学校づくり | ★地域の活動に積極的に参加し、地域を知り、地域を愛する心の育成<br>★県内外への生徒主体の情報発信等、広報活動の展開 | ○小学校、中学校に向いて、会計等について講演を行う。<br>○部活動単位で、小学校、中学校、特別支援学校との交流を深め、本校の魅力をPRする。<br>○月に1回の学校だよりの発行と行事ごとのタイムリーな情報発信を行う。 | ・佐賀市内の小中学校に本校職員が出向き、会計の重要性について講義する。<br>・吹奏楽部が特別支援学校に交流演奏会を実施する。<br>・1月の行事や生徒の活躍をまとめて情報発信するとともに、WebページやSNSを利用し旬な情報を発信する。   |             |          |             |      |         |       |
| ○活力ある学校づくり      | ○系統的な進路指導の充実  | ○学年の段階に応じたキャリア教育と3年生の進路確保(進路決定100%)   | ・進路実現100%という最終目標に向け、学年に応じた段階的な目標を設定し、学年団と連携しながら指導を行う。<br>・系統的な指導のため、生徒の活動の記録を効率よく確実に管理する手段を検討する。  |             |          |             |      |         |       |
|                 | ○高い志を持ち、自らの目標の実現に向けて主体的に取り組む生徒の育成                           | ○★生徒を主体とした取組の推進<br>◎「学校生活が充実している」と回答した生徒90%以上   | ・生徒会の各種委員会が自ら課題を設定し、学校活性化のために具体的に取り組む。<br>・全校生徒に対して学校生活に関するアンケートを年間2回実施し、要望点を集約し、積極的に改善に向けて努力していく。<br>・ルールメイキングプロジェクト委員会を組織し、生徒が自ら考え行動する機会を設ける。   |             |          |             |      |         |       |
|                 | ○3学科の特性を生かした取組の推進と広報活動の強化                                   | ○★グラデュエーションポリシーに沿った各学科の特色を生かした教育活動の充実   | ・(商業科)課題研究では、地域・企業等と協働した取組を実施する。また、進路目標達成を目指す、社会理解や職業理解を深める。<br>・(グローバルビジネス科)グローバル社会に共生するための助言を受け、海外留学生等の外国人との交流を図る。また、佐賀の文化学習を充実する。<br>・(情報処理科)デジタル化による社会の変革等に強い関心を持つような講演会を実施する。また、実習及び演習の時間を十分に確保することで専門知識の深化及び情報処理技術の定着を図る。 |             |          |             |      |         |       |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・  
次年度への展望

・  
・  
・